

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	精神障がい者就労支援及び家族支援
事業主体 (連絡先)	三郷にに八 安曇野市三郷温228-3
事業区分	(2) 保険、医療、福祉の充実
事業タイプ	ソフト
総事業費	761,890円 (うち支援金: 562,000円)

事業内容

- 就労支援
りんごの農作業、お菓子製造加工作業をとおして、就労体験・就労の場を提供した。
- 商品開発
洋菓子、和菓子、古布や木工芸による商品を開発し、各種イベント、店舗に於いての販売に繋げた。
- 家族支援
10回の家族会と6回の学習会を開催し、家族の学びの場、交流の場を提供した。



【厨房加工作業風景】



【講演会】

事業効果

- 指導員を確保することで、週2~3回の継続的な厨房作業が可能となり、厨房稼働日数は前年比1.9倍。サポーター参加延べ人数は前年比2倍。地域との繋がりが広くなり、障がい者理解への啓発活動に繋がった。
- お菓子の新商品の種類の増加と共に、手工芸の商品も増え、それに関わる就労体験の場を提供できた。又売上も向上した。
- 家族会、学習会には、当事者家族延べ124名、前年比1.4倍の参加があり、病気に対する正しい知識を学びながら、情報や意見交換、相談、交流の場を作ることができた。

※ 自己評価 (事業実施率) 【A】

【目標・ねらい】

- 定期継続的な就労支援の場を提供し、個々に合った就労体験・就労の場を提供、当事者の回復をサポート
- 商品開発に力を入れ販売に繋げる
- 学習会開催などによる家族支援

※ 自己評価 (事業効果) 【B】

今後の取り組み

- 指導員確保により継続的な就労の場提供ができ、商品開発により商品種類及び売上も増加した。将来の課題は、経済的支援がなくとも運営できることにある。その実現には、より専門的な良い商品を作り、販売売上を向上させねばならない。そのために、地域の専門家と連携をとり、魅力的な商品を開発するとともに、販売ルートの確保など店舗経営に力を入れていきたい。
- 家族支援では今までの活動を継続し、より多くの家族が孤立せず繋がり、当事者のより良い回復をサポートできるよう支援していきたい。

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。
 ※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある